見える安全・感じる安心
全国仮設安全事業協同組合

点検に勝る安全無し
全国仮設安全事業協同組合

Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety
Access新聞
Vol.179
全国仮設安全事業協同組合
Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety
編集・発行人　東尾　正
発行所　全国仮設安全事業協同組合（ACCESS・アクセス）本部
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 TEL 03-3639-0641 FAX 03-3639-0650
【WEB】www.kasetsuanzen.or.jp 【MAIL】info@kasetsuanzen.or.jp
【仮設安全監理者センター】www.kasetsu-center.jp
【Facebook】www.facebook.com/kasetauanzen/

各都道府県の支所へのお問合わせは、各ブロックの支部までご連絡ください。
北海道支部　〒060-0051　札幌市中央区南1条東7-2-4 カタギリ・コーポレーションビル　TEL 011-206-8683　FAX 011-206-9787
東北支部　〒980-0802　仙台市青葉区二日町 13-22-407 カルコスビル4階　TEL 022-713-6051　FAX 022-713-6052
関東支部　〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18 ユニゾ小伝馬町ビル5階　TEL 03-3639-1571　FAX 03-3639-3980
北信越支部　〒950-0911　新潟市中央区笹口 3-14-2 辰巳ビル2階　TEL 025-255-6210　FAX 025-255-6211
中部支部　〒457-0822　名古屋市南区浜田町 1-10　TEL 052-614-0701　FAX 052-614-0705
近畿支部　〒540-0010　大阪市中央区材木町 1-6 第12新興ビル6階　TEL 06-6966-1610　FAX 06-6966-1617
中国支部　〒730-0016　広島市中区幟町 3-55 幟町ゼネラルビル6階　TEL 082-511-2051　FAX 082-227-2720
四国支部　〒761-8071　香川県高松市伏石町 2163-21　TEL 087-869-8065　FAX 087-869-8066
九州支部　〒811-2101　福岡県糟屋郡宇美町大字宇美字吉野ノ口 3426-9 早見工業団地2階　TEL 092-957-0032　FAX 092-957-0033

建設職人基本法“見える化”大会　建設職人基本法へ入魂の決議を採択

～基本計画に基づく国民の関心と理解を深める取組み～

墜落の恐怖を見える化‼

先行手すりの有効性も実感

全国仮設安全事業協同組合（小野辰雄理事長）と日本建設職人社会振興連盟（國松孝次会長）は2018年2月14日、東京都港区の建築会館で「建設職人基本法“見える化”大会」を開催。本法制定にご尽力された国会議員をはじめ関係省庁の方々、多くの組合員など850人が参加していただきました。式典では、建設職人基本法の入魂を国家・国民の最重要課題として捉え、一刻も早く実現することを願う大会決議を満場一致で採択しました。

ダミー人形を用いた墜落実験

実際に建てられた足場に上る櫻田義孝衆院議員

本大会はこれまで開催してきた「全国仮設安全大会」を「建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律」（通称・建設職人基本法）の周知と建設現場における安全確保の重要性を広く国民に理解を求めるための大会に発展させたものです。

式典冒頭、小野辰雄理事長が挨拶。理事長は「建設職人がいるから国民が安全な生活ができるというように、職人社会が広く国民に認められることで、地位向上につながり、未来ある若者が業界へ夢を持って入ってきてくれることになる。そのためにも我々は根気強く、一致団結して行動していこう」と力強く呼びかけました。

VRで実演実況

今回は初の試みとして高所での足場作業を仮想現実で体感できるVR（バーチャルリアリティ）を式典会場内に設置。現場の職人がいかに危険な状況で作業を行っているか、また先行手すりの有無によってどれだけ安心感が違うかをVRで体験してもらう「“見える化”実証映像体験」では、櫻田義孝衆院議員、秋元司衆院議員及び縄田英樹厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長の3名に実演のご協力をいただきました。スクリーンにはVR映像が映し出され小岸昭義青年部会長が臨場感あふれる実況で大いに盛り上がりました。

4つの体感型展示

一方、会場の中庭では「見える‼墜落災害ゼロ展示」と題して4つの体感型展示を設置。式典でも使用したVRブースは、最長1時間待ちが出る盛況ぶり。他にも、実際に建てられた足場に上る体験、従来より安全性に優れた安全帯の装着体験、ダミー人形を用いた墜落実験の各ブースも多くの来場者が訪れ、足場のリアルさが「見える化」された展示にとなりました。

“見える化”実証映像体験でご協力いただいた秋元司衆院議員

“見える”基本法シンポジウム

共催　建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議

◆◇パネリスト◇◆

▷座長・櫻田義孝衆院議員（自民）▷川内博史衆院議員（立民）▷藤末健三参院議員（国民の声）▷西村明宏衆院議員（自民・国土交通委員長）▷伊佐進一衆院議員（公明）▷小宮山泰子衆院議員（希望）▷重徳和彦衆院議員（民進）▷本村伸子衆院議員（共産）▷片山大介参院議員（維新）▷青木愛参院議員（自由）▷中野正志参院議員（こころ）▷秋元司衆院議員（自民・国土交通副大臣）▷牧原秀樹衆院議員（自民・厚生労働副大臣）▷小倉將信衆院議員（自民・総務大臣政務官）

第2部では、全国仮設安全事業協同組合が賛同する日本建設職人社会振興連盟（國松孝次会長）と建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議（議長・二階俊博衆院議員）の共催で「見える基本法シンポジウム」を開催。国会開会中にも関わらず建設職人基本法制定にご尽力賜った国会議員14名がパネリストとして参加。同フォローアップ推進会議幹事長である櫻田義孝衆院議員が座長をつとめていただき、白熱したディスカッションが繰り広げられました。

今回は3つの具体的行動目標をテーマとしてそれぞれ議論を交わしました。「①民間工事も公共工事と同一の水準にするための墜転落災害防止対策強化徹底」「②安全衛生経費の適切かつ明確な積算・内容確定」「③安全衛生経費を下請確実に支払う実効性ある施策の実施」これらの早期実現に向けて、国会議員側からも積極的なフォローアップをしていく力強い言葉をいただきました。

ご臨席いただいた国会議員の皆様

新藤義孝衆院議員　北村誠吾衆院議員　江渡聡徳衆院議員　古川元久衆院議員　高市早苗衆院議員　太田昭宏衆院議員　前原誠司衆院議員　櫻田義孝衆院議員　増子輝彦参院議員　井上義久衆院議員

平口洋衆院議員　原田憲治衆院議員　鈴木淳司衆院議員　左藤章衆院議員　小宮山泰子衆院議員　川内博史衆院議員　伊藤信太郎衆院議員　務台俊介衆院議員　西村明宏衆院議員　西銘恒三郎衆院議員

岩田和親衆院議員　伊佐進一衆院議員　秋元司衆院議員　藤末健三参院議員　水落敏栄参院議員　伊藤忠彦衆院議員　髙鳥修一衆院議員　牧原秀樹衆院議員　亀岡偉民衆院議員　坂井学衆院議員

初鹿明博衆院議員　野中厚衆院議員　長尾たかし衆院議員　冨樫博之衆院議員　津島淳衆院議員　高橋ひなこ衆院議員　重徳和彦衆院議員　黄川田仁志衆院議員　鬼木誠衆院議員　小倉將信衆院議員　大見正衆院議員　石井正弘参院議員

礒崎陽輔参院議員　青木愛参院議員　松下新平参院議員　佐藤英道参院議員　宮内秀樹衆院議員　三ツ林裕巳衆院議員　牧島かれん衆院議員　堀内詔子衆院議員　細田健一衆院議員

片山大介参院議員　上月良祐参院議員　尾身朝子衆院議員　古川康衆院議員　神谷昇衆院議員　室井邦彦参院議員　舟山康江参院議員　大野元裕参院議員　江島潔参院議員

山田修路参院議員　三宅伸吾参院議員　松川るい参院議員　野田国義参院議員　中西哲参院議員　中野正志参院議員　山添拓参院議員　北村経夫参院議員　本村伸子衆院議員

代理出席いただいた国会議員の皆様

▽赤澤亮正衆院議員▽穴見陽一衆院議員▽石井啓一衆院議員▽石井準一参院議員▽石崎徹衆院議員▽石破茂衆院議員▽井林辰憲衆院議員▽井原巧参院議員▽今井絵理子参院議員▽大岡敏孝衆院議員▽大口善徳衆院議員▽大沼みずほ参院議員▽大野泰正参院議員▽門山宏哲衆院議員▽金子恭之衆院議員▽金田勝年衆院議員▽神山佐市衆院議員▽河村建夫衆院議員▽北川知克衆院議員▽木村弥生衆院議員▽國場幸之助衆院議員▽小林史明衆院議員▽酒井庸行参院議員▽佐々木隆博衆院議員▽山東昭子参院議員▽塩谷立衆院議員▽高橋克法参院議員▽滝沢求参院議員▽武井俊輔衆院議員▽武田良太衆院議員▽武見敬三参院議員▽武村展英衆院議員▽竹本直一衆院議員▽伊達忠一参院議員▽田中和徳衆院議員▽田中英之衆院議員▽田中良生衆院議員▽棚橋泰文衆院議員▽田畑毅衆院議員▽寺田稔衆院議員▽冨岡勉衆院議員▽豊田俊郎参院議員▽中泉松司参院議員▽中曽根弘文参院議員▽中野洋昌衆院議員▽中村裕之衆院議員▽二階俊博衆院議員▽西田実仁参院議員▽野田毅衆院議員▽馬場伸幸衆院議員▽平沢勝栄衆院議員▽平山佐知子参院議員▽福井照衆院議員▽藤川政人参院議員▽藤田幸久参院議員▽舞立昇治参院議員▽牧義夫衆院議員▽牧野たかお参院議員▽松野博一衆院議員▽三木亨参院議員▽御法川信英衆院議員▽三原朝彦衆院議員▽村上誠一郎衆院議員▽山尾志桜里衆院議員▽山本幸三衆院議員▽山本順三参院議員▽吉川貴盛衆院議員▽笠浩史衆院議員▽若松謙維参院議員▽和田義明衆院議員▽渡辺猛之参院議員

明るく未来のある建設産業へ
日本建設職人社会振興連盟
点検に勝る安全無し
全国仮設安全事業

決議文を読み上げる青年部

決議文

建設職人基本法の入魂へ

安定した国民生活を支える住宅や社会インフラの整備を担うのは、建設産業界の役割です。そしてその現場を支えるのは私たち建設職人です。

しかし、建設職人は、一般産業界に比べ、年間1ヶ月以上も休みが少なく、しかも給料が30%も低いのです。それにも増して極めて深刻な問題として、建設労働災害により、毎日毎日1人以上の尊い命が失われており、今年度は、さらに増える見込みです。しかも、その4割は墜落・転落災害によるものです。

このままでは、今後10年で建設職人が100万人も減少すると予想され、今、建設業は大きな岐路に立たされております。

この現状を一刻も早く打開しなければなりません。そのためには、建設職人の安全・健康の確保や処遇の向上を図る「建設職人基本法」を議員立法により制定していただいた超党派国会議員の先生方を中心に、この法律に魂を吹き込んでいただき、もって“若者が誇りをもてる希望に満ちた明るい未来のある社会”としなければなりません。

何よりも喫緊の課題である、墜落・転落災害撲滅対策の充実強化とこれを含む安全衛生経費の確実な支払いを実現するため、基本計画に基づき、国民一般の関心と理解を深めて頂くことが本“見える化”大会の目的であります。

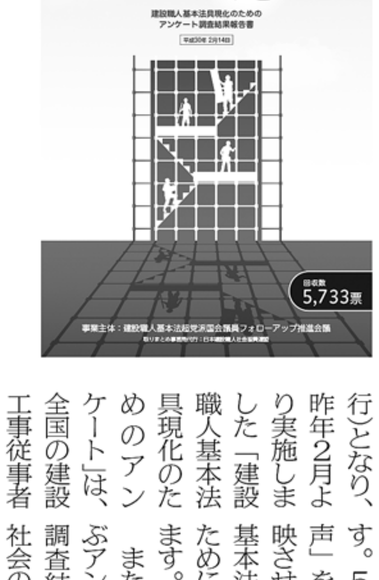
私たち建設職人も真剣に、一生懸命頑張ります。どうか、国会・政府におかれては、「建設職人基本法」への入魂を国家・国民の最重要の課題として捉え、一刻も早く実現していただきたくお願いいたします。

以上、決議します。

平成30年2月14日　建設職人基本法“見える化”大会
全国仮設安全事業協同組合
日本建設職人社会振興連盟

建設職人基本法具現化のためのアンケート

5733人の魂の声が結集



建設職人基本法超党派国会議員フォローアップ推進会議（議長・二階俊博衆院議員）が事業主体（日本建設職人社会振興連盟が取りまとめ代行となり、昨年2月より実施しました「建設職人基本法具現化のためのアンケート」は、全国の建設工事従事者を中心に5733人からアンケートが集まりました。アンケート調査に多大なるご協力を賜りました皆様に改めて厚く御礼を申し上げます。5733人からの「生の声」を的確に具体的施策に反映させ、真の意味で建設職人基本法に“魂”を入れていくために、活用させていただきます。

また、この152項目に及ぶアンケート調査をまとめた調査結果報告書「“建設職人社会の実像”5733人の魂の声」を作成いたしました。冊子の送付をご希望の際は、同フォローアップ推進会議事務局までお問い合わせください。

ACCESS青年部

足場の安全点検パトロール

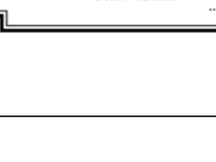
千葉・東京3ヶ所で

全国仮設安全事業協同組合青年部（小岸昭義会長）は2月26日、千葉県浦安市、東京都江東区及び豊島区の計3箇所の工事現場で仮設足場の安全点検を行い、施工業者に対し事故防止の徹底を呼び掛けました。

全国から部会員45人が参加。江東区では小岸会長ら15人が同区のマンション外壁修繕工事現場を訪れ、最上階から順に組立状況を点検しました＝写真＝。

建設工事では墜落・転落による死亡事故が後を絶たず、2016年は建設業の労災死亡者数294人のうち135人（46%）が足場などからの墜落が原因。同日のパトロールでは幅木（つま先板）の高さ不足や足場の上に関係のない部材の放置などがあり、元請業者に伝え、改善を求めました。

点検後、小岸会長は「足場からの墜落死亡災害がゼロになり、そのゼロを継続して行く安全文化を醸成するためにも点検活動を続けていきたい。このパトロールが安全意識の向上につながれば」と語りました。



仮設安全監理検査	実施件数	109083件
	改善依頼件数	15791件
	検査を実施した箇所からの仮設に起因する死亡報告件数	0件
仮設安全監理者	受講者数	14081名
	資格取得者数	12710名
発注者及び災防団体等の依頼による研修会	研修会開催件数	1240件
	研修会出席者数	94264名

2017年12月現在の速報値。